

■ 医療の質の向上

◆政策医療等の着実な実施と診療機能の充実・強化

【急性期・総合医療センター】

- 救急搬送支援システムの開発・運用の主導など、救命救急医療の機能強化
- 精神科救急医療体制における身体合併症患者の受入れ拡大
(精神科救急・合併症入院料算定患者数 (22)155人 ⇒(23)328人)
- がんの診療拠点として化学療法への拡充など、がん治療患者数の拡大
(がん治療患者数 (22)7,055人⇒(23)8,850人)

【呼吸器・アレルギー医療センター】

- 地域の医療機関と連携した専門医、認定看護師等による緩和ケア医療の推進
- 感染症法に基づく結核入院勧告患者受入れ((22)377人⇒(23)379人)
- 食物チャレンジテストの積極的な実施
(食物チャレンジテスト実施件数(22)741件⇒(23)1,015件 目標650件)

【精神医療センター】

- 思春期外来の拡充
(思春期外来延べ患者数 (22)3,067人⇒(23)4,486人 目標3,000人)
- 自閉症確定診断待機患児の解消
(自閉症確定診断待機患児数年度末 (22)204人⇒(23)134人 目標70人)
- 治療中断者や未受診者等、早期の段階から医師等が医療面での支援を行うアウトリーチの開始

【成人病センター】

- 難治性・進行性・希少がん患者への最適な集学的治療の実施と放射線治療におけるIMRTへの重点化
難治性がん手術 (22) 809件⇒(23) 809件 目標 800件
放射線治療 (22) 27,768件⇒(23) 27,373件 目標 27,800件
うちIMRT件数 (22) 3,241件⇒(23) 4,853件 目標 3,200件
- 低侵襲治療の推進
(ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)(22) 510件⇒(23) 538件 目標 470件)
- 個別化医療の推進
(抗がん剤感受性試験実施件数 (22) 123件⇒(23) 142件 目標 130件)

【母子保健総合医療センター】

- 高度専門医療として開心術(3歳未満)など手術件数を拡大
(22) 3,732件⇒(23) 3,915件 目標 3,750件)
- 母体緊急搬送患者の受入れ((22) 141件⇒(23) 144件 目標150件)
- 入院している子どもの在宅療養への移行を支援
(在宅療養指導管理料算定実患者数(22) 833人⇒(23) 840人 目標900人)

◆医療の標準化と最適な医療の提供

- クリニカルパスの適用率・種類数について、精神医療センターを除く4病院すべてで拡大

診療機能向上のための基盤づくり

【優れた医療スタッフの確保・育成】

- 法人のホームページに看護師採用における電子申請の導入等募集方法の充実
- 医師に対する医療体制等確保手当の増額、新生児医療に対するNICU手当の創設、地域手当の増額など就労環境の改善
- 看護師の夜勤に対する医療体制等確保手当の加算など就労環境の改善
- 看護師の長期自主研修制度における対象職員の拡大や支援金の拡充
- 法人全体で行う看護師への教育研修や個々のレベルに応じた段階別プログラム研修の実施、医療技術職員における5病院合同の新規採用職員研修の実施
- 急性期Cに地域の医師のキャリア支援、地域や診療科間の医師確保を推進するための大阪府医療人キャリアセンター(府委託)を開設

医師等の配置状況(現員数)

	(単位:人)		
	H24.3.1	H23.3.1	差引
医師	444	413	31
看護師等	2,170	2,104	66
医療技術	474	448	26

■ 患者・府民サービスの向上

【患者満足度調査の実施】

各病院において、満足度調査の結果等を踏まえながら計画的に患者サービス向上のための取組みを実施。23年度の調査結果、「全体にこの病院に満足している」と答えたものの割合が、過去の調査と比較し、概ね上昇。

□患者満足度調査結果

設問：全体としてこの病院に満足している(入院)

	満足度 (H18) (%)	満足度 (H20) (%)	満足度 (H22) (%)	満足度 (H23) (%)
急性期C	87.92	90.57	92.07	90.79
呼吸器C	81.86	86.10	88.79	90.07
精神C	63.16	48.68	56.07	64.58
成人病C	91.38	91.68	92.75	92.94
母子C	84.68	93.25	90.73	92.86

※) 精神Cは、H20年度は入院患者を対象。それ以外は退院患者。

【満足度向上のための主な取組み】

- 患者総合相談室に専用電話回線による医療相談コールセンターの設置など(急性期C)
- 手術・ICUの家族待合室利用者への院内用PHSの貸し出し開始など(呼吸器C)
- 家族を支援することを目的とした家族心理教室の開催など(精神C)
- NPOによる院内見学と意見交換会の実施など(成人病C)
- ボランティアによる乳幼児等の一時預かり対応の拡大など(母子C)

【院内施設の改善及び利便性の向上】

- 立体駐車場の整備による駐輪・駐車可能台数の拡大など(急性期C)
- 病棟12階に展望ホールを開設、ボランティア控室の供用開始など(呼吸器C)
- 空調設備の更新など(精神C)
- 床頭台、洗濯機、乾燥機、特別室のドア等のリニューアルなど(成人病C)
- コンビニエンスストア・軽食スペースの整備など(母子C)

【手術の実施件数の拡大】

麻酔医の確保、手術枠の効率化を図るなど、限られたキャパシティの中で手術実施件数を拡大

■ 地域との連携・貢献

- インターネットによる診察予約の登録医療施設及び診察予約件数の拡大(急性期C)
- 地域医療機関からの予約受付時間の拡大(急性期C、成人病C)
- 在宅医療に関する地域の医師とのシステムネットワークへの参加(呼吸器C)
- 5大がん(肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、肝がん)に前立腺がんを加え、地域連携クリニカルパスを整備し、113例を適用((22)77例)(成人病C)
- 医療機関等を対象とした24時間体制の小児がん・白血病症例の相談・紹介に対応する専用回線の設置や医療機関・患者向け講習会(イブニングセミナー)の開催(母子C)
- 看護実習生の受入れ((22)2,353人⇒(23)2,838人)
- 研修会への医療スタッフの講師派遣((22)613人⇒(23)734人)

【施設・設備の整備状況】

法人全体の収支改善状況を勘案した補正予算を編成し、医療機器整備等への積極的な投資を行った。

- (急性期C) PET-CT、自走式の高速CT撮影装置などの機器整備、中央監視システム等強化工事
- (呼吸器C) CTなどの機器整備、管理診療棟耐震補強工事など
- (精神C) 再編整備に係る実施設計の完了、新病棟建設工事の着工など
- (成人病C) 移転建替えに係る特定事業の選定、入札公告の実施など
- (母子C) CTなどの機器整備、受変電設備改修工事、外壁等改修工事など

(単位:億円)

	23年度	22年度	前年度差	計画額	計画との差
増改築工事費	30.5	14.9	15.6	31.3	△ 0.8
資産購入費	27.3	25.8	1.5	17.8	9.5
建設改良費計	57.8	40.7	17.1	49.0	8.8

※端数はそれぞれ百万円単位を四捨五入をしているため、「差引」が一致しない。

■ 財務の状況(23年度決算の概要)

医療収益の大幅な増加により、資金収支は18.5億円の黒字となり、計画を9.9億円上回った。

(単位:億円)

	23年度決算	22年度決算	前年度差	(計画)	(計画との差)
収入①	737.1	706.5	30.6	720.3	16.8
営業収益	668.5	649.1	19.4	652.2	16.3
うち医療収益	560.8	533.5	27.3	545.5	15.3
うち入院収益	398.3	380.2	18.1	392.0	6.3
うち外来収益	137.8	129.6	8.2	131.3	6.5
うち運営費負担金	104.9	112.8	△ 7.9	104.8	0.1
営業外収益	8.7	8.4	0.3	8.2	0.5
資本収入	59.9	49.0	10.9	59.9	0.0
支出②	718.5	673.2	45.3	711.7	6.8
営業費用	629.8	603.5	26.3	631.6	△ 1.8
うち医療費用	621.0	595.5	25.5	622.3	△ 1.3
給与費	337.3	323.3	14.0	339.6	△ 2.3
うち退職給与金	13.6	12.8	0.8	14.6	△ 1.0
材料費	157.4	152.4	5.0	154.0	3.4
経費	121.2	114.8	6.4	123.2	△ 2.0
研究研修費	5.1	4.9	0.2	5.5	△ 0.4
一般管理費	8.8	8.1	0.7	9.3	△ 0.5
営業外費用	4.9	5.3	△ 0.4	5.1	△ 0.2
資本支出	83.8	64.3	19.5	75.0	8.8
資金収支 ①-②	18.5	33.3	△ 14.8	8.6	9.9

※端数はそれぞれ百万円単位を四捨五入をしているため、「差引」が一致しない。

■ 病院別の資金収支

(単位:億円)

セグメント	23年度	22年度
急性期C	4.8	13.1
呼吸器C	4.9	3.2
精神C	5.7	4.1
成人病C	5.0	10.2
母子C	6.1	9.7
機構本部	▲ 8.0	▲ 7.1
機構全体	18.5	33.3

※端数はそれぞれ百万円単位を四捨五入している。

【主な取組】

- 収入の確保
- ・地域連携による紹介患者の確保などによる新入院患者数の増加
- ・病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用による病床利用率の向上
- 費用の節減
- ・SPDによる価格交渉
- ・同種同効品の集約化
- ・後発医薬品の採用促進等

患者の動向

	23年度	22年度	差引
急性期C	92.3	91.4	0.9
新入院患者数(人)	17,178	16,660	518
平均在院日数(日)	13.3	13.4	△ 0.1
呼吸器C	84.6	82.9	1.7
新入院患者数(人)	8,711	7,986	725
平均在院日数(日)	13.6	17.3	△ 3.7
精神C	83.1	82.1	1.0
新入院患者数(人)	667	782	△ 115
平均在院日数(日)	209.8	178.5	31.3
成人病C	89.3	88.5	0.8
新入院患者数(人)	8,924	9,302	△ 378
平均在院日数(日)	17.1	17.0	0.1
母子C	79.2	79.4	△ 0.2
新入院患者数(人)	8,239	7,956	283
平均在院日数(日)	12.1	12.6	△ 0.5

診療単価の状況

(単位:円)

病院名	入院単価		
	23年度	22年度	差引
急性期C	58,196	54,943	3,253
呼吸器C	36,970	35,226	1,744
精神C	17,737	17,674	63
成人病C	53,265	52,727	538
母子C	74,832	74,533	299

*成人病Cの入院単価は、人間ドックを除く数値

【主な取組】

- 診療単価の向上
- ・小児入院医療管理料2の取得(急性期C)
- ・緩和ケア病棟開設に伴う入院料の算定(呼吸器C)
- ・画像診断管理加算Ⅱの取得(成人病C)
- ・診療報酬請求に係る精度調査を実施し、研修会を開催するなど周知徹底、経営会議を通じた法人全体の情報の共有化